

愛称：最高の人生の描き方
ライフ・ジャーニー
(かしこく育てるコース)

マンスリー・レポート

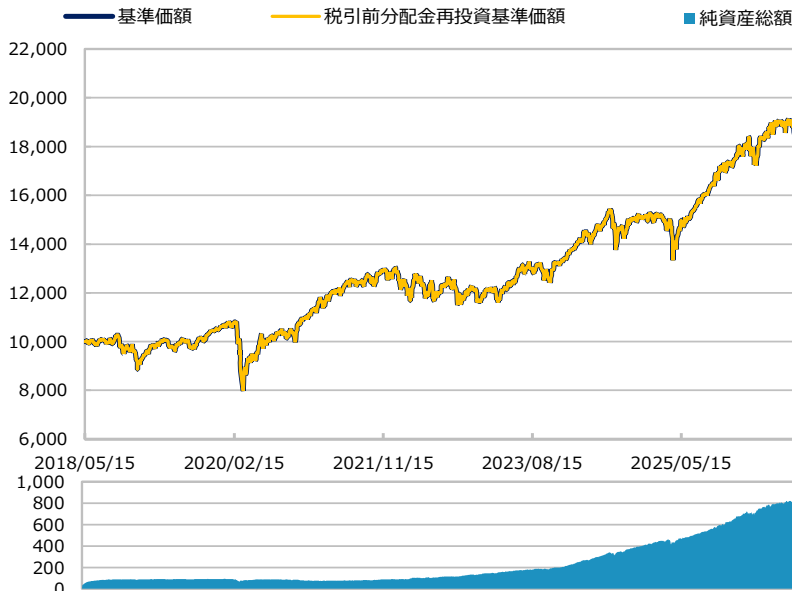
追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

ファンド設定日：2018年05月16日

日経新聞掲載名：かしこく育て

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	18,484	-593
純資産総額（百万円）	80,522	-1,725

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド
1 カ月	2026/08/31	-3.1
3 カ月	2026/06/30	-2.3
6 カ月	2026/03/31	7.1
1 年	2025/09/30	12.2
3 年	2023/09/29	43.7
設定来	2018/05/16	84.8

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第13期	2024/09/17	0
第14期	2025/03/17	0
第15期	2025/09/16	0
第16期	2026/03/16	0
第17期	2026/09/15	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
組入投資信託	98.9	-0.2
マネー・ファンド	0.0	+0.0
現金等	1.1	+0.2
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「ブラックロック・エンハンス・ストラテジック・アロケーション・ファンド（アキュムレーティング・クラス、円建て）」です。

※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・トラスト・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
国内株式	-57
外国株式	-236
国内債券	-6
外国債券	-151
リート	-120
分配金	0
その他	-23
合計	-593

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

愛称：最高の人生の描き方
ライフ・ジャーニー
(かしこく使うコース)

マンスリー・レポート

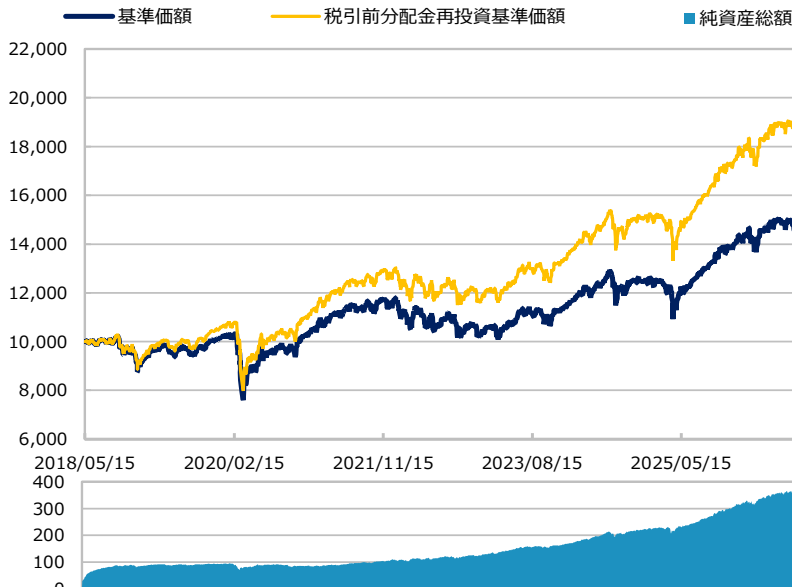
追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

ファンド設定日：2018年05月16日

日経新聞掲載名：かしこく使う

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	14,455	-534
純資産総額（百万円）	36,013	-479

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド
1 ヵ月	2026/08/31	-3.1
3 ヵ月	2026/06/30	-2.3
6 ヵ月	2026/03/31	7.1
1 年	2025/09/30	12.2
3 年	2023/09/29	43.5
設定来	2018/05/16	84.4

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第46期	2026/01/15	71
第47期	2026/03/16	70
第48期	2026/05/15	73
第49期	2026/07/15	74
第50期	2026/09/15	72
設定来累計		2,747

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
組入投資信託	98.7	+0.3
マネー・ファンド	0.0	+0.0
現金等	1.3	-0.3
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「ブラックロック・エンハスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（ディストリビューティング・クラス、円建て）」です。

※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・トラスト・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
国内株式	-45
外国株式	-185
国内債券	-5
外国債券	-118
リート	-94
分配金	-72
その他	-15
合計	-534

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

愛称：最高の人生の描き方
ライフ・ジャーニー
(充実して楽しむコース)

マンスリー・レポート

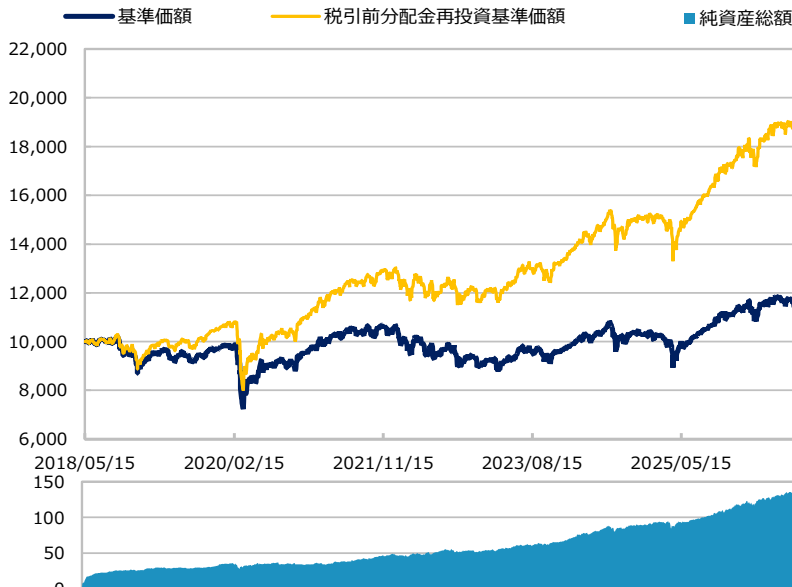
追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

ファンド設定日：2018年05月16日

日経新聞掲載名：充実し楽しむ

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	11,285	-475
純資産総額（百万円）	13,302	-299

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド
1 ヵ月	2026/08/31	-3.1
3 ヵ月	2026/06/30	-2.3
6 ヵ月	2026/03/31	7.1
1 年	2025/09/30	12.1
3 年	2023/09/29	43.3
設定来	2018/05/16	84.2

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第46期	2026/01/15	115
第47期	2026/03/16	112
第48期	2026/05/15	117
第49期	2026/07/15	118
第50期	2026/09/15	113
設定来累計		4,861

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
組入投資信託	99.1	+0.4
マネー・ファンド	0.0	+0.0
現金等	0.9	-0.4
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「ブラックロック・エンハスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（デキュムレーション・クラス、円建て）」です。

※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・トラスト・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
国内株式	-35
外国株式	-144
国内債券	-4
外国債券	-93
リート	-74
分配金	-113
その他	-13
合計	-475

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

ライフ・ジャーニー

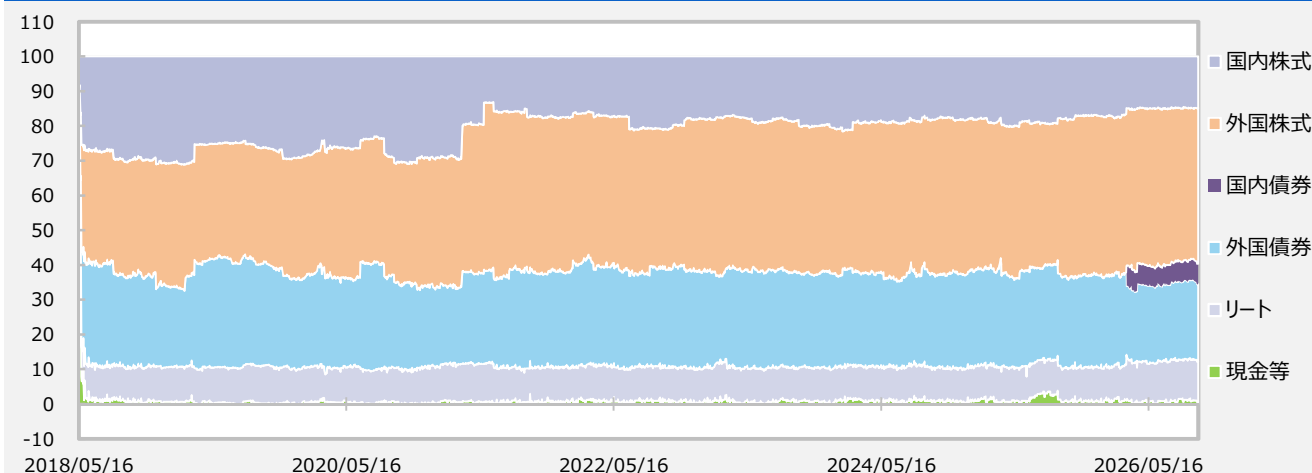
(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

資産構成比率の推移 (%)



資産構成比率 (%)

	組入ETFの騰落率 (%)		組入ETFの騰落率 (%)				
	当月末	前月比	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年
国内株式	14.8	-0.0	-	-	-	-	-
i シェアーズ・コア TOPIX ETF	14.8	-0.0	-1.7	2.4	15.3	31.9	84.5
i シェアーズ MSCI 日本株最小分散ETF	0.0	0.0	-2.2	4.2	8.5	21.7	55.1
外国株式	44.7	+0.6	-	-	-	-	-
i シェアーズ・コア MSCI 先進国株 (除く日本) ETF	33.5	+0.4	-2.6	1.7	16.8	22.6	89.8
i シェアーズ・コア MSCI 新興国株ETF	11.3	+0.2	-2.2	-2.3	19.0	34.8	94.9
国内債券	6.0	+0.3	-	-	-	-	-
i シェアーズ・コア 日本国債 ETF	6.0	+0.3	-0.7	-2.9	-3.9	-9.2	-17.3
i シェアーズ 日本国債 7-10年 ETF	0.0	0.0	-0.9	-2.5	-3.6	-7.5	
外国債券	22.3	-0.3	-	-	-	-	-
i シェアーズ・コア 米国債7-10年ETF (為替ヘッジあり)	15.6	-0.1	-3.8	-5.4	-4.8	-6.3	-5.1
i シェアーズ ブロード 米ドル建てハイイールド社債 UCITS ETF	2.9	-0.1	-2.5	-1.7	1.3	1.4	26.2
i シェアーズ 米ドル建て投資適格社債ETF (為替ヘッジあり)	3.8	-0.1	-3.8	-5.9	-3.9	-6.8	-1.2
リート	11.6	-0.1	-	-	-	-	-
i シェアーズ・コア リートETF	7.7	-0.2	-4.4	-4.5	-6.1	-6.4	6.5
i シェアーズ 米国リートETF	3.9	+0.1	-7.1	-9.9	6.5	15.5	50.9
現金等	0.6	-0.5	-	-	-	-	-
合計	100.0	0.0	-	-	-	-	-

※ 「i シェアーズ ブロード 米ドル建てハイイールド社債 UCITS ETF」は現地通貨ベースの騰落率です。

※ 組入ETFの騰落率は、ファンドの騰落率と整合を図るため、原則として基準日前日の終値を基に算出しています。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・エンハンスド・ストラテジック・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

9月の先進国株式市場は、下落しました。中東情勢やインフレへの警戒に加え、金利上昇を背景に下落しました。その後、AI関連需要の底堅さを背景に、一部の半導体関連株や大型テクノロジー株は持ち直しました。月末にかけては米国債利回りの上昇が幅広いリスク資産の重しとなり、中小型株、欧州株式などが軟調となりました。

新興国株式市場は、地域や業種によってまちまちの展開となりました。上旬は、企業業績への期待やAI関連需要などを背景に株価は比較的底堅く推移し、特に半導体の供給網で重要な位置を占める韓国や台湾などが注目されました。中旬は、原油価格の高止まりや米国の利上げなどが重しとなり、下落しました。下旬は、AI・ハイテク関連株が相場を下支えする一方で、米国金利の上昇と米ドル高が重しとなり、一進一退となりました。

債券市場では主要先進国で金利が上昇しました。米国では、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇や堅調な経済指標などから、金利は上昇しました。FOMC（米連邦公開市場委員会）では市場予想通り利上げが決定されました。欧州では、原油価格の上昇や米長期金利の上昇に加え、景気指標が堅調だったことなどから金利は上昇しました。ECB（欧州中央銀行）理事会では市場予想通り利上げが決定されました。日本では、利上げ観測の高まりや原油高、米金利の上昇から金利は上昇しました。日銀は、金融政策決定会合で利上げを決定しました。

社債については、国債利回りの上昇や金融引き締め長期化への警戒が重しとなり、投資適格社債とハイイールド債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）はいずれも拡大しました。特に、大規模な資金調達を行う一部の大型テクノロジー企業においてスプレッドの拡大が確認されました。

＜運用経過＞

年率10%程度のリスク量を目標に、各国指数に連動する債券、株式といった伝統的資産に、投資適格社債、ハイイールド社債、新興国株式、内外REIT（不動産投資信託）を加え、また、円に対する外貨リスクも考慮し、ポートフォリオ全体のリスク分散を図り、長期に安定したパフォーマンスを提供することを目標として組み入れています。組み入れたETF（上場投資信託）は、いずれもグローバルな市場に分散投資を行う目的に適したETFを選定しています。

引き続き、株式のウェイトをやや高めで維持した一方、債券のウェイトをやや抑制気味としました。株式においては、先進国や日本株式を中心として保有した一方、新興国株式も一定程度保有しています。REITに関しては、利回り追求の動きを意識して資産配分を維持しています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・エンハンスド・ストラテジック・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場見通しと今後の運用方針＞

米国の金融政策や長期金利の動向、エネルギー価格、地政学リスクを巡り、短期的には市場のボラティリティ（変動性）が高まりやすい状況が続くと考えます。一方、底堅い経済活動や企業業績、AI関連投資の継続は、リスク資産を下支えする要因になるとみています。

新興国についても、米国金利や米ドルの動向を受けてボラティリティが高まりやすい状況が続くと考えます。一方、良好な企業業績やAI関連需要は、一部の新興国株式を下支えする要因になるとみています。ただし、中国では先端製造業が成長する一方、内需の弱さや不動産市場の低迷が続いており、国や業種による差が大きい展開を見込みます。

債券市場については、インフレ圧力やエネルギー価格、主要中央銀行の金融政策に加え、政府の資金調達やAI関連における資金需要の動向が金利の変動要因になると考えます。市場では追加利上げ観測が高まっていますが、その織り込みが修正される可能性もあるため、金融政策と長期金利の動向を注視しながら、慎重に金利リスクを調整していく方針です。社債市場は、企業のファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）が全体として下支え要因になる一方、高金利の長期化や資金調達コストの上昇が、財務体質の弱い企業や借入依存度の高い企業への圧力になると考えます。リスク回避局面では、ハイイールド債券を含む信用資産のスプレッドが拡大しやすいため、発行体の信用力や資金調達動向を注視していきます。

ポートフォリオでは、実体経済動向や金融政策動向、各資産のバリュエーション（投資価値評価）等に留意しつつ、中長期的な目標リターンを獲得にむけて慎重なリスク量の管理を行いながらリバランス（投資配分比率の調整）を実施していく方針です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

ファンドの特色

1. 「退職世代（年金世代）とその準備世代」のさまざまな資産活用ニーズに対応します。資産成長と資金払出の割合の違いによる、3つのコースからご選択いただけます。また、各コース間でスイッチングが可能です。

● 世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。

● 中長期的な目標リターンとして短期金利相当分＋年3％程度※を目指して資産配分を行います。

※ 目標リターン（短期金利相当分＋年3％程度）は一定の収益を得ることができる運用を意味するものではなく、またその達成を示唆あるいは保証するものではありません。

※ 各コースの信託報酬および各コースが投資対象とする外国投資信託の運用報酬等控除後のものです。

● (かしこく育てるコース) は、年2回（原則として毎年3月および9月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。分配を極力抑制するとともに、信託財産の安定的な成長を目指します。

● (かしこく使うコース) (充実して楽しむコース) は、年6回（原則として毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。

(かしこく使うコース) は、目標分配率を年3％（各決算時0.5％）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。(充実して楽しむコース) は、目標分配率を年6％（各決算時1％）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。

※ 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

＜ご留意いただきたい事項＞

● 目標リターンについて

・ 目標リターン（短期金利相当分＋年3％程度）は一定の収益を得ることができる運用を意味するものではなく、またその達成を示唆あるいは保証するものではありません。

・ 目標リターンに用いる短期金利は、2026年3月末現在、1ヵ月TONA（複利）を基に算出するものを指しますが、市場環境に応じて類似の指標を用いることがあるほか、予告なく変更する場合があります。

● 目標分配率について

・ 目標分配率とは、基準価額に対する分配率の目安を示すものであり、実際の支払額を保証するものではありません。また、各コースの利回りを示唆あるいは保証するものではありません。

・ 目標分配率は、各コースの決算日の基準価額に対する比率となります。

・ (充実して楽しむコース) は、中長期的な目標リターンを達成した場合においても、それよりも多くを分配（資金払出）するため、実質投資元本の取崩しとなります。そのため投資元本は小さくなり、結果的に概ね分配の都度分配金の金額は小さくなっていきます。

● 分配金について

・ (かしこく使うコース) および (充実して楽しむコース) の分配金は、投資収益にかかわらず目標分配率に応じて払い出すため、投資収益が目標リターンを下回る場合には、分配金の一部または全部が元本取崩しによって充当されます。

2. 実質的な運用は、運用資産残高で世界最大級の運用会社であるブラックロック*が行います。

● 投資対象とする外国投資信託の運用は、ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドが行います。

* ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドを含むブラックロック・グループを指します。

● 外国投資信託は、主として上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。

● 各資産への投資割合は、各資産についてブラックロックが推計する中長期的に期待される収益率およびリスク等を基に最適化を行い、変動リスク水準があらかじめ定めた目標程度となるように決定されます。また、変動リスク水準が目標から大きく外れる場合は、資産配分を機動的に見直す、あるいは現金比率を高める場合があります。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 債券市場リスク

【債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です】

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。

■ 不動産投資信託（リート）に関するリスク

【リートの価格の下落は、基準価額の下落要因です】

リートの価格は、不動産市況や金利・景気動向、関連法制度の変更等の影響を受け変動します。また、リートに組み入れられている個々の不動産等の市場価値や賃貸収入、個々のリートの事業活動や財務状況等によっても価格が変動します。これらにより、ファンドが組み入れているリートの価格が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

【部分的な為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は軽減されます】

ファンドは外貨建資産の一部について、原則として為替ヘッジ付きの外国投資信託を組み入れます。

為替ヘッジが行われていない部分については為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

為替ヘッジが行われている部分については為替変動の影響を受けますが、原則として対円での為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。対円での為替ヘッジ比率は、資産配分の調整に伴い変動します。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

投資リスク

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

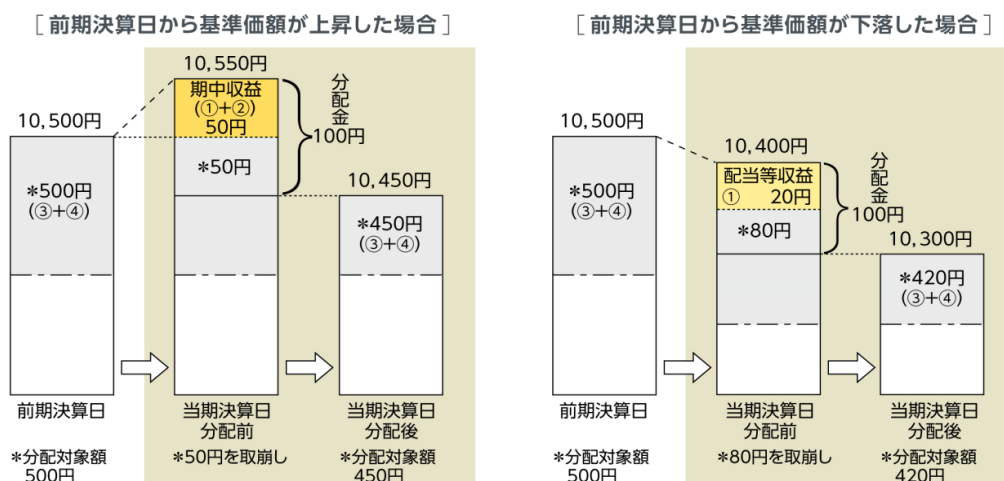
分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

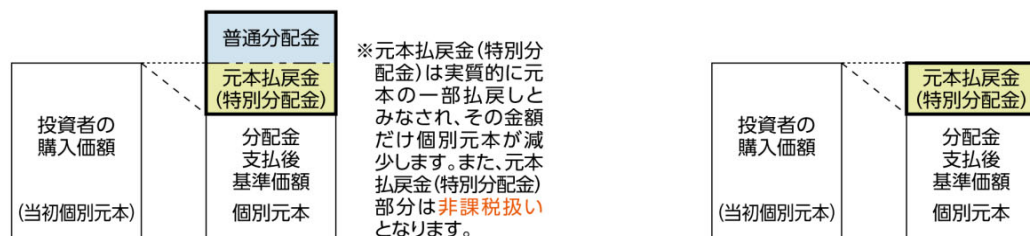
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

[分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合]

[分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合]



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2018年5月16日設定）

繰上償還

- 各ファンドの基準価額（1万口当たり。支払済み分配金を加算しません。）が2,000円を下回った場合、短期金融商品等による安定運用に順次切換えを行い、基準価額が2,000円を下回った日の翌営業日から起算して3ヵ月以内に繰上償還します。
- 各ファンドが投資対象とする外国投資信託が信託を終了した場合または外国投資信託の分配方針の変更により各ファンドの商品の同一性が失われる場合には、繰上償還します。

また、以下の場合には、繰上償還をすることがあります。

- 繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき
- 各ファンドの残存口数が20億口を下回ることとなったとき
- その他やむを得ない事情が発生したとき

決算日

（かしこく育てるコース）

毎年3月、9月の15日（休業日の場合は翌営業日）

（かしこく使うコース）（充実して楽しむコース）

毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

（かしこく育てるコース）

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

（かしこく使うコース）（充実して楽しむコース）

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

<共通>

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

お申込みメモ

お申込不可日

ありません。

※申込不可日は投資する投資信託が投資対象とするETFの変更等に伴い変更される場合があります。

スイッチング

販売会社によっては、各ファンド間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

○ 購入時手数料

購入価額に**2.20% (税抜き2.00%) を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

○ 信託財産留保額

ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 運用管理費用（信託報酬）

ファンドの純資産総額に**年1.133% (税抜き1.03%)**の率を乗じた額です。

※投資対象とする投資信託の運用管理費用を含めた場合、**最大年1.608% (税抜き1.48%)**となります（投資対象とする投資信託が組入れを行っているETFの管理費用を含んでいます。管理費用は変動する場合があります。）。

ただし、投資対象とする投資信託の運用報酬等は、料率が把握できる費用の合計であり、上記のほか、別途、受託報酬等がかかります。

そのため、実質的な負担はこれらの報酬を加えたものとなります。

また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。

上記の料率は、2026年3月末現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。

○ その他の費用・手数料

以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。

- 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
- 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
- 資産を外国で保管する場合の費用 等

※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社

ファンドの運用の指図等を行います。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ホームページ：<https://www.smd-am.co.jp>

コールセンター：0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

受託会社

ファンドの財産の保管および管理等を行います。

株式会社S M B C信託銀行

販売会社

ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	一般社団法人 資産運用業協会	金融先物取引業協会	日本一般社団法人 S T O 協会	備考
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○	○	
北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長（金商）第1号	○					※1
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○			○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○	○	
三菱 U F J e スマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○	
株式会社青森みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第1号	○					※2
株式会社イオン銀行（仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○					※3
株式会社 S B I 新生銀行（S B I 証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○			○		※4
株式会社 S B I 新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○			○		※3
P a y P a y 銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○			○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		
株式会社三井住友銀行（仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		※5
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第12号	○					
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○					※1

備考欄について

※1：新規の募集はお取り扱いしておりません。※2：「かしこく育てるコース」、「かしこく使うコース」のみのお取り扱いとなります。※3：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社※4：委託金融商品取引業者 株式会社 S B I 証券※5：委託金融商品取引業者 S M B C 日興証券株式会社

ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) / (かしこく使うコース) / (充実して楽しむコース)

追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2026年09月30日

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。